

鎌倉支部長 三島久司（S56年卒）

鎌倉市内には、現在市立小学校16校、中学校9校の25校があります。

現在の会員数は、校内会員が約40名、校外会員が約90名となっております。

本支部においても、新会員が少しずつは増加しておりますが、同時に、長年教職に就かれていた方々が退職を迎える機会も増えており、会員の確保に苦慮している現状です。

今年度は、平成28年9月10日（土）に、大船において支部総会・研修会・懇談会を開催いたしました。当日は、芦川弘会長のご臨席を賜り、ご挨拶をいただきました。校内会員（現職教員）と校外会員（OB）との交流と情報交換等を行うことができました。総会では、平成27年度の会務会計報告、平成28年度の役員改選及び活動計画が承認されました。

本支部では、例年、総会と合わせて研修会も行い、現職・OB等交互に講師として様々な発表を行っていただいております。今年度は、校外会員の林紋子先生から「教師育成から教員育成へ」という演題でお話をいただきました。鎌倉市での教員として、退職後は教育指導員として、そして本年度からは他大学客員教授として、教師・教員育成に携わられているご経験から、示唆に富む内容のお話をいただき、大変有意義な講演でした。懇親会では、老若男女を問わず和気藹々と交流を深め、楽しい会となりました。

本市には、鶴岡八幡宮に隣接して、横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉小学校と附属鎌倉中学校が、一つのキャンパス内にあります。かつては神奈川県師範学校の校地であり、また、横浜国立大学となった後、現在は、武道館や第2グラウンドとなっておりますが、以前は、両校の奥の敷地内に「蒼翠寮」があり、大学に縁のある地域でもあります。また、大学時代に、附属鎌倉小・中学校に、教育実習や実習の事前学習等で、来校された方々もいらしたのではないのでしょうか。現在も、学生が教育実習生等として来校し、教職に向けての研修や実習に取り組んでいると伺っております。

三方を山に囲まれ、相模湾に面した地である鎌倉は、寺社仏閣、史跡、ハイキングコースや材木座・由比ヶ浜・腰越海岸等、歴史と自然にあふれた地であります。1年を通して、各地の小・中学生・高校生の校外学習や修学旅行で賑わうだけでなく、様々な年齢層の方々が訪れ、古都鎌倉の歴史と自然に親しんでいただいております。現在は、特に海外からの訪問者も増え、街中や史跡が、様々な言語での会話に溢れております。

大学ともご縁のある鎌倉の支部として市内市立、及び国立小・中学校の教育実践の担い手として一層励むとともに、会員相互の繋がりを更に深めてまいりたいと考えております。